

平成 15 年度 外務省委託スキーム別評価 「国際緊急援助隊評価」  
医療チーム に対する質問票

平成 16 年 1 月 9 日  
外務省国際緊急援助隊評価調査チーム

今般、効果的・効率的な援助の実施のための評価事業の一環として、外務省は、「国際緊急援助隊」派遣制度を対象にプログラムレベル評価（スキーム別評価）を行うこととなりました。この評価の目的は、第一に「国際緊急援助隊」について総合的かつ包括的に評価し、今後のより効果的な実施の参考とするための教訓・提言を得ること、第二に評価結果を公表し説明責任を果たすことです。

この評価の一環として、外務省調査チームは 2003 年 6 月 12 日から 6 月 19 日にかけて実施されました「アルジェリア国における地震災害に対する国際緊急援助隊」派遣をケーススタディとして取り上げ、1 月 9 日～16 日の日程でアルジェリアの現地調査を行い、情報収集を行う予定です。

つきましては、お忙しいところ大変恐縮でございますが、以下の質問への回答にご協力をお願い申し上げます。回答に際しましては、「アルジェリア国における地震災害に対する国際緊急援助隊（医療チーム）」に副団長として参加されました下記の 2 名の方々に個別にご記入いただきたくお願い申し上げます。

ご記入頂きました質問票回答については、まこと勝手ながら 1 月 19 日までにファックスまたは E-mail にて本調査チーム事務局あてにお送り頂ければ幸甚です。場合によっては、面談あるいは電話にて事実確認及び補足情報についてインタビューを行いたいと考えております。その際は事務局より別途ご連絡申し上げますが、重ねてご協力賜りますようお願い申し上げます。なお、回答結果は本件評価調査の参考とさせていただくものであり、ご回答者の個人名を公表することはありませんので、念のため。

回答者

氏名：

役職：

所属：

Q1. 本件評価調査団は、既存のマニュアルや関係者へのヒアリングを通じて「国際緊急援助隊」の派遣時における体制を整理し、医療チームにおいては以下のとおり実施すると理解しております。ついては、派遣時(アルジェリア地震 医療チーム派遣)における医療チームの実施状況について、教えてください。

(派遣時(被災国での活動))

以下の各項目についての実施状況について、A～D(A:順調に行った、B:行った、C:行ったが十分とはいえなかった、D:全く行わなかった。)から選択し、チェックをお願いします。さらにC及びDを選んだ場合はその理由を、また、いずれの場合においても改善の余地がある場合は改善案を、備考欄にご記入願います。

	マニュアル等によるデザイン	実施状況				備考
		A	B	C	D	
医-1	<p>到着時</p> <p>①在外大使館職員、JICA 職員、被災国側カウンターパートとの顔合わせ</p> <p>②携行機材の引き取り</p> <p>③ミーティングの設定(在外公館関係者、JICA 職員など)</p> <p>④機材の保管・輸送:機材は在外公館や JICA 事務所、日本人会事務所、日本企業の倉庫などに一時的に預かってもらうか、活動地が決まっていればその地への輸送手配。</p> <p>⑤宿舎への移動</p> <p>⑥在外公館への便宜供与の依頼および情報収集</p> <p>⑦被災国対策本部との調整(被災国対策本部、保健省、外務省、内務省、警察、軍の責任者、赤十字社やNGO)</p>					
医-2	<p>活動中</p> <p>①状況把握(被災者数とその構成、地域の医療体制、地域に特徴的な疾患の有無、災害によると予測される疾患の種類、地域に入る際の安全性についての検討(二次災害の危険度)、他の医療機関(政府、非政府組織)の活動状況、被災地の一般的情報(宗教、地理、気象など)</p> <p>②被災地の医療ニーズの把握</p> <p>③現地対策本部等の関係者への表敬訪問</p> <p>④状況報告をできるだけ頻繁に行う。(日本の事務局、在外公館、JICA 事務所)</p> <p>⑤広報は団長が主体となって行う。マスコミ対応の報道係りを決め、実施</p> <p>⑥JDR チームの活動は、現地災害対策本部、被災国チーム、他国チーム、国際機関チームとの協議を行いその役割分担に従って実施</p> <p>⑦活動拠点の選択と設営、診察計画、役割分担(休暇・休憩のローテーションの決定、診察、待ち合い、薬局等の部屋割り)</p> <p>⑧診療記録</p> <p>⑨現地対策本部と協力して被災地調査を実施。</p> <p>⑩後送病院の決定。</p> <p>⑪現地対策本部との協議の上、外国チームとの協力</p> <p>⑫後方支援、補給</p> <p>⑬撤収、二次隊の必要性の判断(JDRの派遣期間は原則として2週間であるので、医療活動を開始して5日以内に決定する。)</p> <p>⑭帰国に際し被災国政府へ活動報告</p>					

医-2	活動中 ①状況把握(被災者数とその構成、地域の医療体制、地域に特徴的な疾患の有無、災害によると予測される疾患の種類、地域に入る際の安全性についての検討(二次災害の危険度)、他の医療機関(政府、非政府組織)の活動状況、被災地の一般的情報(宗教、地理、気象など) ②被災地の医療ニーズの把握 ③現地対策本部等の関係者への表敬訪問												
-----	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

Q2. 現地で活動をされるにあたり、国際緊急援助隊派遣制度に対してのご意見を教えてください。

- JMTDR マニュアルは適当でしたか？
- 他国と比較して日本の国際緊急援助隊派遣制度の利点はありましたか？
- 国際緊急援助隊派遣制度からくる問題点はありましたか？

Q3. その他、国際緊急援助隊派遣制に関してご意見があれば、教えていただきたく存じます。

以上